

2008年版・環境活動レポート



2008年6月10日 作成

(株)富士インダストリーズ

【1】環境方針

基本理念

当社の事業活動が地域及び次世代の環境に及ぼす影響を常に考え、住み良い地域環境と地球環境の実現のため、経営のあらゆる面で環境に配慮して行動をする。

基本方針

株式会社富士インダストリーズは、地域性及び環境への関連を考慮し、以下の環境方針を定め、全ての事業活動を通じて、その実現に取り組みます。

- 1、事業を通じた地球環境保護
全ての事業活動において、地球環境保護に寄与できるよう努めます。
- 2、資源・エネルギーの効率的利用
資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を認識し、省資源、省エネルギー、リサイクル、そしてグリーン購入に努めます。
- 3、環境関連法規の遵守
環境関連の諸法規及び当社が同意した各種協定を遵守します。
- 4、継続的環境改善の実施
環境保全に関する目的・目標を設定し、取組結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組みます。
省資源、省エネルギーの推進 [CO2排出抑制]
廃棄物の削減
水使用量の削減

環境啓発活動と地域・社会貢献活動の推進

環境活動レポートを公表する等、社内外に対して環境保護に関する情報の提供を行い
また、啓発、教育活動を推進するとともに、地域社会の一員として地域・社会貢献活動の推進に努めます。

平成19年6月1日
株式会社富士インダストリーズ
執行役員東京支店長

【2】事業概要

1. 会社概要

会社名 : (株)富士インダストリーズ
代表者名 : 執行役員東京支店長
E A 21対象所在地 : 東京都港区新橋2丁目5 - 5 新橋2丁目MTビル
本社・所在地 : 兵庫県神戸市明石町32 明海ビル
設立 : 1949年6月
資本金 : 9900万円
売上額 : 5977百万円 (2007年9月期) (東京支店)
株主 : 122名
従業員数 : 21名 (東京支店)
地域指定 : 商業地域
敷地面積 : 794.24m²
建物面積 : 賃貸床面積532m²

環境管理責任者 : 東京支店次長
連絡先 : 03-3539-5411
FAX : 03-3539-5412
メールアドレス : k.fujimura@ficjpn.co.jp

2. 沿革

1946年5月 : 創業者 仲野至道の個人経営による機械工具類の製造販売により創業
1949年6月 : 株式会社組織に改めるとともに、輸出入業に移行
1956年5月 : 東京支店開設
1959年5月 : ニューヨークに子会社として米国法人FUJI INDUSTRIES CORP.を設立
1986年1月 : 株式会社富士インダストリーズと称号を変更
1995年1月 : 阪神淡路大震災で本社ビルが全壊するも、1ヵ月半後に通常業務に戻る
2006年8月 : 東京支店現在地に移転

3. 製品概要

航空機用部品、材料等の輸入

4. 事業形態

(1)事業年度 : 10月 ~ 翌年9月
(2)年間稼働日数 : 248日
(3)就業形態 : 1シフト
(4)就業時間 : 9:15 ~ 17:35
(7.5時間労働)

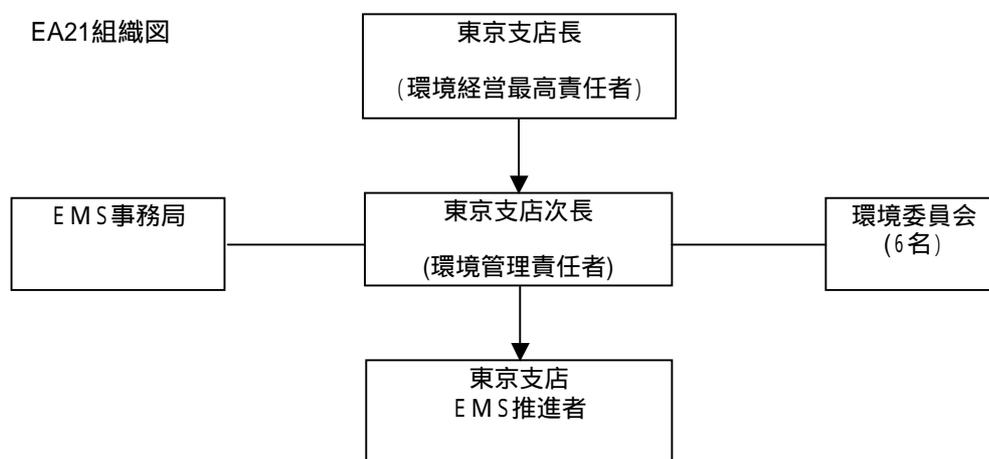
5. 敷地概要

都市計画法での用途地域指定 : 商業地域



6. エコアクション21実施体制の構築

(1) 支店長は環境経営システムを運用・実施・維持する体制を構築する。



【3】環境目標とその実績

事業年度：10月～翌年9月

環境目標項目	単位		基準年度	環境目標値 / 実績		
			2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
二酸化炭素排出削減 (省エネルギー)	Kg-Co2	目標率	-	-1%	-2%	-3%
		目標値	-	70,472	69,760	69,048
		実績値	71,183	44,336		
購入電力の削減	Kwh	目標値	-	84,087	83,238	82,388
		実績値	84,936	61,181		
ガスの削減(冷暖房)	m ³	目標値	-	15,301	15,146	14,992
		実績値	15,455	9,285		
ガソリンの削減	L	目標値	-	2,769	2,741	2,713
		実績値	2,796	703		
廃棄物排出量削減 (リサイクル推進)		目標率	-	-2%	-4%	-6%
一般廃棄物の排出 ゴミ分別の徹底	Kg	目標値	-	680	666	652
		実績値	693	440		
排水量削減 (節水)		目標率	-	-	-	-
★生活用水のみの為 目標を定めず	L	目標値	-	-	-	-
		実績値	1,213	771		
自社テーマ		目標率	-	50%	60%	60%
グリーン購入	品目数 22品目 (総品目 数:38)	目標値	-	19	22	22
		実績値	15/38	20/38		
3S活動	評価点 (25点 満点)	目標値	-	23	25	25
		実績値	-	18	-	-

* 2008年度実績は2007年10月～2008年5月の実績値を記載。

【4】主要な環境活動計画の内容

東京支店の事業活動における環境への負荷を低減するために、従業員一同が取組んでいる主要な環境活動内容は以下の通りです。

1. 活動内容

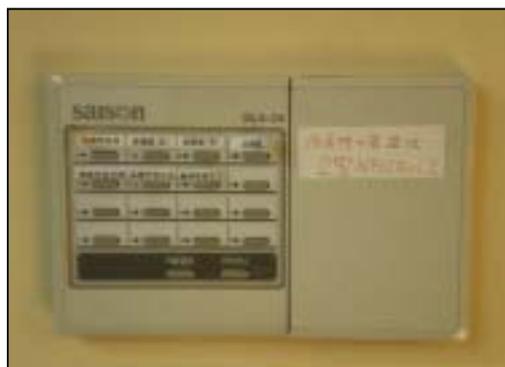
事業年度: 10月 ~ 翌年9月

環境活動計画項目	推進担当者	実行責任者	2007年度
			計画及び実行内容
二酸化炭素排出削減(省エネルギー)			
照明等の電源管理 不使用時はOFF	各部署 全員	環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> 室内不在時、昼休み時の消灯励行 使用しないパソコン等の電源OFF徹底 室内灯のON/OFF節電表示
エアコンの温度管理	環境管理 責任者	環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> 各スイッチに責任者/管理者名を表示 冷暖房の適正温度厳守(冷房28、暖房20) 使用期間の設定 クールビズの期間延長(6月~9月)及びその徹底 ウォームビズの推奨
社有車の アイドリングストップ	使用者 全員	環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> エコドライブの表示実施 車両を購入する際は省エネ車を購入する
廃棄物排出量削減(リサイクル推進)			
一般廃棄物の 分別徹底	事務所 全員	環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ置場の整理、分別表示、分別の徹底 分別BOXの設置 バージン紙の購入低減 裏書の使用を促進
排水量削減(節水)			
水道水の節水 流し放しにしない	事務所 全員	環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> 注意書きの表示「節水に心がけましょう」
トイレの節水 不必要に流さない	事務所 全員	環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> 消音器具活用の徹底
自社テーマ			
グリーン購入	事務所 全員	環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> グリーン商品を積極的に購入する
3S活動の推進	事務所 全員	環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> 整理・整頓・清掃の実施

2. 実施状況 (オフィス省エネ、省資源管理表示)



照明スイッチに「節電消灯」等の表示



空調スイッチに「室温28」表示



オフィス内ゴミ分別の表示



オフィス内ゴミ分別状況



オフィス内古紙分別方法



共用スペースの古紙分別方法



3S実施(保管書類整理)

【5-1】環境活動の取組結果の評価及び見直し

環境目標項目	目標値	取組結果				達成:○ 経過観察:△ 是正:×	
	取組項目・評価	単位	10～12月	1月～3月	4月～6月		計
二酸化炭素排出削減 (省エネルギー)	前年比99%	2007年度	15,663	14,492	12,947	43,102	△
	Kg-Co2	2008年度	15,472	20,125	8,740	44,337	
		前年比	99%	139%	68%	103%	
購入電力の削減	Kwh (キロワット/時)	2007年度	21,052	17,543	20,270	58,865	△
		2008年度	22,838	23,606	14,737	61,181	
		前年比	108%	135%	73%	104%	
ガスの削減 (空調用)	m ³	2007年度	2,846	3,022	1,722	7,590	△
		2008年度	2,762	5,254	1,269	9,285	
		前年比	97%	174%	74%	122%	
ガソリンの削減	L(リットル)	2007年度	734	641	712	2,087	○
		2008年度	437	54	213	704	
		前年比	60%	8%	30%	34%	
[評価]	現状把握を含め改善活動を6ヶ月実施しましたが、ガソリンを除く各項目の削減が進んでいない。電力・ガスの増加の原因は外気温平均が前年7.6℃から3.9℃に下がったの大きな要因と考えられるが、室内設定温度の管理をより一層徹底したい。						
[最高責任者コメント]	上期より下期の方が仕事量も多く、また、売上高の増減により難しい面もあると思うが、ウォームビズなどを取り入れて暖房温度を管理していきたい。						
廃棄物排出量削減 (リサイクル推進)	前年比99%	取組結果				達成:○ 経過観察:△ 是正:×	
	Kg	10～12月	1月～3月	4月～6月	計		
		2007年度	186	179	167		532
2008年度		159	164	117	440		
一般廃棄物の 排出ゴミ分別の徹底	前年比	85%	92%	70%	83%	○	
[評価]	一般廃棄物の排出ゴミ分別徹底を実施した結果、各従業員の排出ゴミへの意識が高まった。引き続き分別を実施し、各従業員の意識をさらに高めたいと思います。						
[最高責任者コメント]	分別実施後はゴミ置場周辺の整理もされておりますので、継続をお願いしたい。						
排水量削減 (節水)	前年比99%	取組結果				達成:○ 経過観察:△ 是正:×	
		10～12月	1月～3月	4月～6月	計		
		2007年度	325	313	292		930
2008年度		279	288	204	771		
生活用水削減	前年比	86%	92%	70%	83%	○	
[評価]	生活排水のみのため目標値は定めていないが、注意喚起の教育等の周知を行ったことにより、節水効果があったものと思われま。						
[最高責任者コメント]	概ね周知されているものと思われるが、できることからやって頂きたいと思ひます。						
自社テーマ	取組結果				達成:○ 経過観察:△ 是正:×		
	品目数 19品目	10～12月	1月～3月	4月～6月		計	
		2007年度	15	15		15	15
2008年度		16	19	19	19		
グリーン購入	前年比	107%	127%	127%	127%	○	
3S活動	調査回数と 評価点20点 以上	2007年度	-	-	-	-	△
		2008年度	3回 16点	3回 15点	2回 18点	8回 18点	
		前年比					
[評価]	各従業員の意識が高まり、事務所内の整理・整頓も進んだと思ひます。引き続き社員教育を定期的実施致します。						
[最高責任者コメント]	環境に配慮された社会貢献がより重要になってきております。定期的な教育を実施し、効果を上げていきたい。						

【5-2】環境活動の取組結果の評価及び見直し

環境目標項目	目標値 (前年比)	評価 (2007年10月～2008年6月)	見直し (2008年7月～2008年9月)
二酸化炭素排出削減 (省エネルギー)	-1%	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備・証明のスイッチに、注意書き等を表示した結果、従業員の取組み意識の向上に繋がりましたが、外気温が平年に比べ低温であった為か、排出量は増加してしまっ た。 ・エアコンの設定温度については、環境省推奨温度を表示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季はウォームビス、夏季はクールビスを推奨し、削減を目指します。 ・目標値は継続とする。
購入電力の削減			
化石燃料の削減			
廃棄物排出量削減 (リサイクル推進)	-2%	<ul style="list-style-type: none"> ・一般ゴミの分別徹底を実施した結果、各従業員の排出ゴミへの意識が高まった。引き続き分別を実施し、各従業員の意識が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビニール類の分別方法が曖昧で従業員が戸惑ってしまった為、再度分別方法を明確化する。 ・リサイクルを考えた物品の使用、購入を検討。
一般廃棄物の排出ゴミ 分別の徹底			
排水量削減 (節水)		<ul style="list-style-type: none"> ・生活用水のみのため目標値を定めていないが、注意書きによる周知にて節水に努めたことにより削減に繋がったと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの消音器具使用を励行する。
生活用水の削減			
* 生活用水のみの為、 目標値は定めず			
自社テーマ		<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入は複数のカタログを調べ積極的に購入するようにしている。 ・業務上、ペーパーの使用が多いが、机上や保管書類の整理が進んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入の意識も高まり、採用点数は4点27%UPしている。 ・今後もグリーン商品の購入率をより高めるようにしていく。 ・保管書類の整理を進める。 ・電子メールを活用し、ペーパー使用を削減する。 ・整理・整頓を環境とリンクさせ、3Sとあわせた展開に見直しをする。
グリーン購入	品目数 22品目 (総品目 数:38)		
3S活動の推進	評価点 (25点 満点)		
代表者による全体の評価・見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・教育や注意書き等の表示により各従業員の環境改善への意識が向上したと認められる。 ・環境改善活動の具現化に向けた会議開催により、部門管理者同士で話し合う機会が増え、洋々な意見交換ができた。より緊密な関係が構築された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針及び環境目標は継続とする。 ・徹底した環境教育を行い、組織全員の環境意識を高め、目標必達に向けた改善活動に取り組むこと。

【6】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

法規等の名称	適用内容	規制基準値、その他	遵守状況
廃棄物処理法	収集運搬業者及び 処分業者との委託契約	ビル管理会社及び同委託業者 との契約書・業者の許可証の 確認	
消防法 東京都震災対策条 例 火災予防条例	震災を防止するため、自己の安全の確保 に努めるとともに、相互に協力し、都民全 体の生命、身体及び財産の安全の確保 に努めなければならない 火災予防条例等の遵守	一 建築物その他の工作物の 耐震性及び耐火性の確 保 二 家具の転倒防止 三 出火の防止 四 初期消火に必要な用具の 準備 五 飲料水及び食糧の確保 六 避難の経路、場所及び 方法についての確認 ・ビル管理会社による 消防訓練に参加(年一 回)	

1. 遵守状況
2. 更新時期 : 毎年4月に実施します。
3. 苦情等の有無 : 外部からの苦情は、過去3年間ありません。
4. 提訴等の有無 : 関係当局からの指摘及び利用関係者からの訴訟は、過去3年間ありません